

2024 年度 西南学院の決算概要について

西南学院をはじめ私学振興助成法により補助金の交付を受ける学校法人は、学校法人会計基準の定めに従い会計処理を行い、計算書類(決算書)を作成する必要があります。本学院の 2024 年度決算は、5 月 16 日に監事監査を終了し、5 月 29 日の定期理事会において承認されましたので、その概要についてご報告いたします。

(1) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該年度の「教育活動」「教育活動以外の経常的な活動」「その他の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、収支の均衡状態を示すものです。

教育活動収入においては、2020 年度から開始された高等教育の修学支援制度では、経常費等補助金に 515,709 千円を受け入れて授業料減免を行いました。

教育活動支出では、昨今の物価高騰に伴い、物品購入費や水道光熱費等の値上がりにより、対前年比では支出額が増加したものの各部署において予算を執行する際に経費の節減等に努めた結果、予算残が発生し、予算比で 400,994 千円少なくなりました。

人件費は 7,649,983 千円であり、経常収入に対する割合は 56.0%と、全国平均(同系統法人平均) 52.4%より高い割合を占めています。教育研究経費は前年度より 49,623 千円増加し、経常収入に対する割合は 29.8%で、全国平均(同系統法人平均) 34.6%より低い割合となっています。

事業活動収入は、前年度より 384,531 千円増加し、予算比で 167,757 千円多くなっています。事業活動支出は、前年度より 63,538 千円減少し、予算比で 480,488 千円少なくなりました。この結果、基本金組入前当年度収支差額は予算より 648,245 千円改善され、1,306,580 千円となりました。事業活動収入に対する基本金組入前当年度収支差額の比率を示す事業活動収支差額比率は 9.5%です。

基本金については、第 1 号基本金では、大学 SAINS24 システム機器、田尻 GF 人工芝更新、言語教育センター棟機器更新、中学校・高等学校液晶プロジェクター、小学校体育館天井工事、幼稚園エアコン、保育所給食ワゴン等の組入額から第 2 号基本金からの振替 88,000 千円及び備品総合償却等を部門別に相殺し、基本金の組入れ 42,450 千円と取崩し 78,422 千円を計上しています。第 2 号基本金の組入れは、西南会館、学術研究所、新講義棟建築のための 350,000 千円及び中学校・高等学校校舎改築資金 100,000 千円です。第 3 号基本金の基本金組入れは、大学奨学金、中学校・高等学校奨学基金等の 200,498 千円です。第 4 号基本金の基本金組入れは、恒常的に保持すべき資金として 18,885 千円です。

基本金組入後の当年度収支差額は、予算より 725,751 千円好転し、594,747 千円の収入超過となりました。当年度収支差額に前年度繰越収支差額、基本金取崩額を加えた翌年度繰越収支差額は 956,475 千円の支出超過となっています。

(2) 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容並びに支払資金の収入及び支出の顚末を明らかにするための計算書です。

当年度の資金収入は 18,617,003 千円で、前年度繰越支払資金 9,002,348 千円を合わせた資金収入の部合計は 27,619,351 千円となりました。一方、当年度の資金支出は 18,297,288 千円です。

資金収入の部合計から当年度の資金支出を控除した翌年度繰越支払資金は、前年度より 319,715 千円増加して 9,322,063 千円となりました。

(3) 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における学校法人の財政状態を示しています。

当年度末の資産の部合計は 77,932,557 千円で前年度より 1,943,760 千円増加、負債の部合計は 6,598,463 千円で前年度より 637,181 千円増加しました。その結果、純資産の部は前年度より 1,306,580 千円増加して 71,334,093 千円となりました。

資産の部合計の内訳は、固定資産では、有形固定資産が 42,418,300 千円、各種引当資産である特定資産が 13,851,875 千円、有価証券等を含むその他の固定資産が 11,915,703 千円です。流動資産では、現金預金 9,322,063 千円を含めて 9,746,679 千円となっています。なお、2009 年度末以降、借入金はありません。